

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 4 月 16 日(2025.4.16)

【公開番号】特開 2023-156194(P2023-156194A)
【公開日】令和 5 年 10 月 24 日(2023.10.24)
【年通号数】公開公報(特許)2023-200
【出願番号】特願 2022-65916(P2022-65916)
【国際特許分類】

A 6 1 B 17/34(2006.01)

10

A 6 1 B 1/018(2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/34

A 6 1 B 1/018 5 1 5

【手続補正書】
【提出日】令和 7 年 4 月 8 日(2025.4.8)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

先端が鋭利な針先を有する穿刺部と、
前記穿刺部の基端側に設けられている軸部と、を備え、
前記軸部が、コア材と、前記コア材の外周面に配置された外層体と、を備え、
前記コア材の先端部が前記穿刺部に形成されている挿入孔に挿入されており、
前記穿刺部の外径が、先端に向かって一定であるか、または減少している、穿刺デバイス。

30

【請求項 2】

前記穿刺部が、外径が一定である外径一定部と、前記外径一定部の先端側に設けられて
おり、外径が先端に向かって減少している外径減少部と、を有する、請求項 1 に記載の穿
刺デバイス。

【請求項 3】

前記穿刺部が中空構造である、請求項 1 に記載の穿刺デバイス。

【請求項 4】

前記穿刺部が、先端側を軸線に対して斜めに切断して形成された刃面を有する、請求項
3 に記載の穿刺デバイス。

【請求項 5】

前記穿刺部の基端と前記外層体の先端とが当接している、請求項 1 に記載の穿刺デバイス。

40

【請求項 6】

前記穿刺部の外径と前記軸部の外径とが略同一である、請求項 1 に記載の穿刺デバイス。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0054
【補正方法】変更
【補正の内容】

50

【 0 0 5 4 】

図 4 は第 3 実施形態に係る穿刺デバイス 1 B の先端部の構造を示す説明図である。本実施形態に係る針部材 1 0 B は、図 4 に示すように、中空構造の穿刺部 1 1 B と、穿刺部 1 1 B の基端側に設けられている軸部 1 2 B とを備える。穿刺部 1 1 B の長さは 5 ～ 8 0 m m 程度であり、軸部 1 2 B の長さは、穿刺デバイス 1 の用途等によって変動する。

10

20

30

40

50